

第 2 章

「団塊世代のボランティア活動に対する意識調査」 の概要

第2章 「団塊世代のボランティア活動に対する意識調査」の概要

第1節 調査の概要

1 調査の目的

地域において、ボランティア活動の指導者・コーディネーター等として活躍が期待されている団塊の世代を対象に、ボランティア活動に対する意識調査を実施し、今後のボランティア活動推進施策に資する。

2 調査対象

「昭和22年～24年」生まれの男女 2,080名（男性1,195名 女性885名）

3 調査実施期間

平成19年1月26日（金）から1月30日（火）までの5日間

4 調査方法

委託先調査会社「楽天リサーチ株式会社」が保有している登録モニターのうち「団塊世代」に対してインターネットを通じて質問（調査票）を送付し、回答を回収する。

5 調査内容

- (1) ボランティア活動の分野について（Q1～2）
- (2) ボランティア活動のきっかけについて（Q3～4）
- (3) ボランティア活動の満足度について（Q5）
- (4) ボランティア活動の意識について（Q6）
- (5) ボランティア活動の意向について（Q7、Q12～13）
- (6) ボランティア活動に参加できない理由について（Q8～11、Q14）
- (7) NPO・NGOへの参加の意向について（Q15）
- (8) 学校支援ボランティアに対する活動の意向について（Q16～18）
- (9) ボランティア活動への行政の支援に対する要望について（Q19）
- (10) 回答者の属性（Q20～22）

6 回収数

【表 2 回収数】

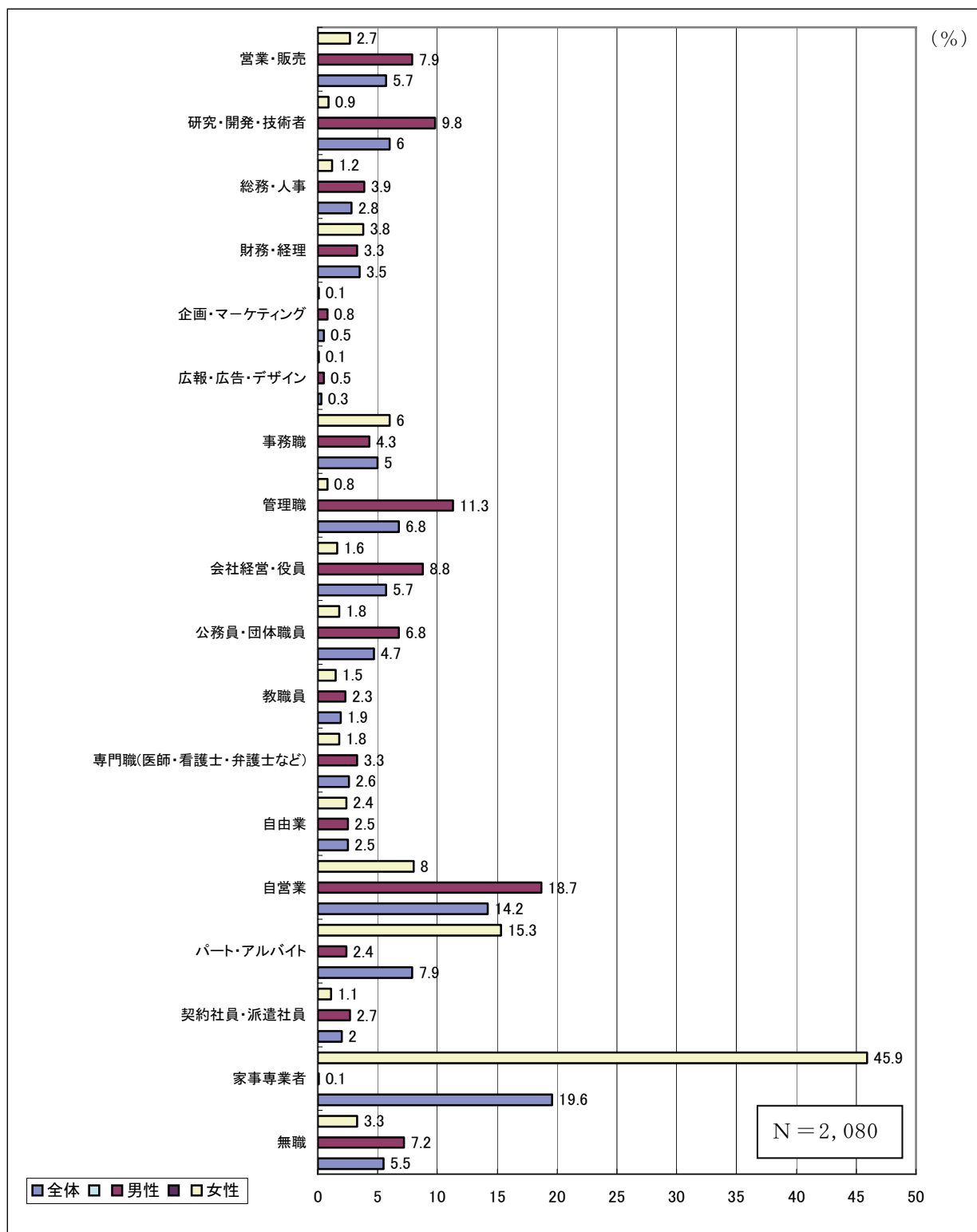
N = 2,080

	男 性		小計	女 性		小計	合計
	勤労者	家事専業者 又は無職		勤労者	家事専業者 又は無職		
昭和 22 年 4 月 2 日～ 昭和 23 年 4 月 1 日生まれ	376	45	421	124	150	274	695 (33.4%)
昭和 23 年 4 月 2 日～ 昭和 24 年 4 月 1 日生まれ	345	45	390	155	140	295	685 (32.9%)
昭和 24 年 4 月 2 日～ 昭和 25 年 4 月 1 日生まれ	344	40	384	156	160	316	700 (33.7%)
計	1065	130	1,195 (57.5%)	435	450	885 (42.5%)	2,080 (100%)

7 回答者の主要な属性

(1) 職種別

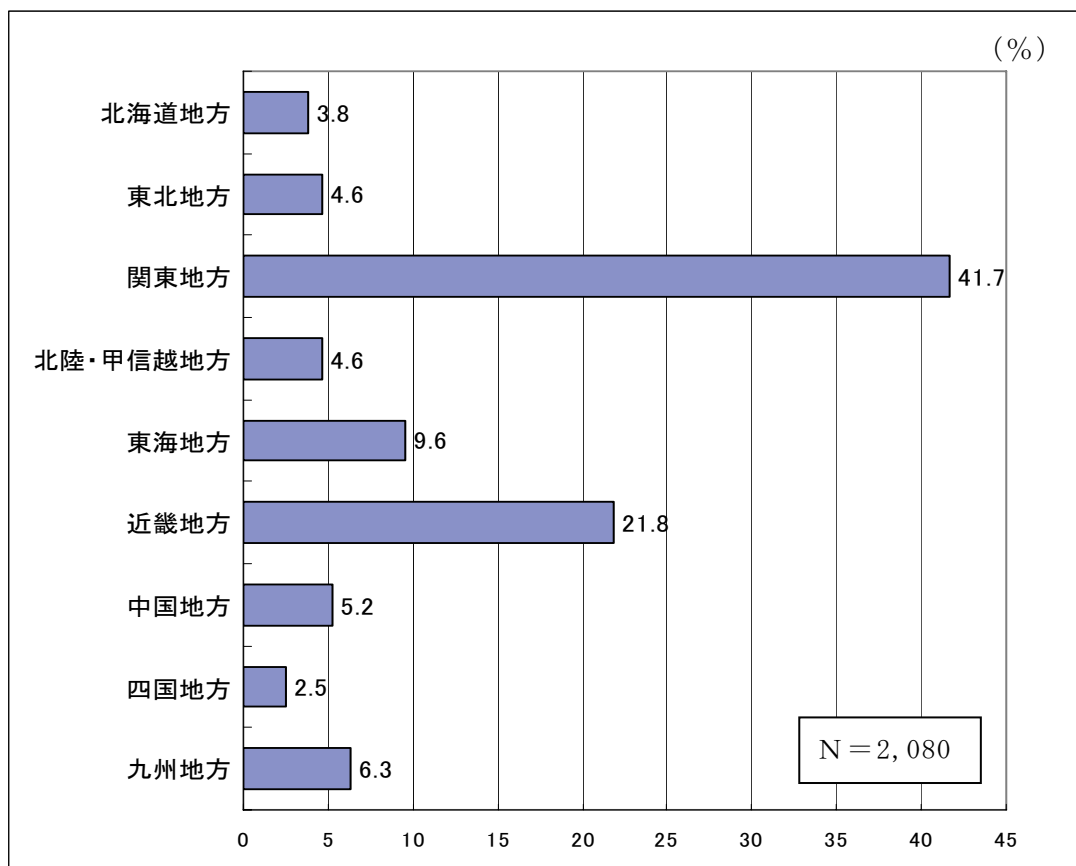
職種別の結果を見ると「家事専業者」が19.6%（407人）、「自営業」が14.2%（295人）、「パート・アルバイト」が7.9%（164人）、「管理職」が6.8%（142人）、「研究・開発・技術者」が6.0%（125人）となっている。【図2-1】



【図 2-1 回答者属性（職種別）】

(2) 地域ブロック別

地域ブロック別では、関東地方が41.7%（867人）と最も回答数が多く、次いで近畿地方21.8%（453人）の回答数が多い結果が見られた。7割以上の回答者が関東・東海・近畿地方となっている。【図2-2】



【図 2-2 回答者属性（地域ブロック別）】